

科目名	歴史Ⅱ HistoryⅡ			担当教員	濱近 仁史 (窓口教員：河野通弘)		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120013	単位区分	履修単位
学習目標	我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などとも関連づけながら世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化、伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
進め方	基本的には講座形式で進める。日本近現代史の流れを追いながら、常に現在とのつながりを意識させたい。折々に重要な問題に関してその現代的な意義を問い、生徒に考えさせたい。個々の歴史的事項に関しては、資料集などを利用して、深い知識を身につけさせたい。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. 近代国家の成立(15) (1) 日本の開国 (2) 江戸幕府の滅亡 (3) 明治維新 (4) 立憲政治体制の確立			江戸幕府の崩壊と明治政府の成立の過程、および日本がアジア諸国の中でいち早く立憲政治体制を確立できた理由とその意義を理解できる。また、明治前期に行われた事柄と現在との継続性を理解できる。 学習・教育目標：A			
	[前期中間試験](2)						
	2. 近代日本の発展(15) (1) 日清・日露戦争 (2) 大陸進出の開始 (3) 資本主義の発達 (4) 第一次世界大戦と日本			日清・日露戦争の勝利、第一次世界大戦への参戦が日本を国際的に膨張させたことを世界史との関わりで理解できる。日本の資本主義発展の過程と特色を理解できる。 学習・教育目標：A			
	前期末試験						
	3. 恐慌と戦争の時代(15) (1) 政党政治の展開 (2) 恐慌の時代 (3) 軍部の台頭と協調外交の挫折 (4) 日中戦争から太平洋戦争へ			第一次大戦後の国際協調体制の中で日本が取った進路の曲折を、戦後恐慌以後の恐慌の時代との関連で理解できる。日中・太平洋戦争がなぜ起きたか、また両戦争の関係を説明できる。戦争の終わり方と戦後日本の歴史との関連を理解できる。 学習・教育目標：A			
	[後期中間試験](2)						
	4. 戦後日本の歩み(15) (1) 占領と民主化 (2) 冷戦の開始と日本の独立 (3) 55年体制と高度経済成長 (4) 経済大国への道 (5) 冷戦終結後の世界と日本			戦後日本の民主化の過程や復興と発展の過程が理解できる。現在日本の諸制度の多くが戦後すぐの諸改革に起源があることを理解できる。現在の日本の特色と問題点がどういう情勢の中で生まれたかを説明できる。 学習・教育目標：A			
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	・評価の内容はレポートなどを10%、定期試験結果を90%程度とする。 ・学習項目ごとの全評価への重みは、1～4のそれぞれについて各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ(1年) → 歴史Ⅱ(2年) → 人文科学Ⅲ(4年)						
教材	資料集『詳説 日本史図録』(山川出版) 毎時、授業プリントを配布する。						
備考	・単位追認試験は次年度の9月(前期範囲)と1月(後期範囲)に実施する。						